

福島第一原子力発電所事故の検証に関するご質問・ご意見の提出状況について

福島第一原子力発電所事故の検証に関する議論について、県民の皆様からご質問・ご意見を受付けています。昨年度の安全管理に関する技術委員会において、平成 25 年 2 月までの提出状況について報告しましたが、その後にご受付けたご質問・ご意見等の提出状況は次のとおりです。

1. 今回報告の対象期間

平成 27 年 3 月 24 日～平成 28 年 3 月 22 日現在（意見募集は平成 24 年 8 月 14 日から開始）

2. 県民意見等の提出状況

23 件（累計 81 件）

3. 県民意見等の概要

(1) 課題別ディスカッションに関するもの

ご質問・ご意見等の概要

<課題 1：地震動による重要機器の影響>

- ・非常用復水器（IC）へ炉から水蒸気、炉内ガスを送る配管は、配管に損傷が生じている。東京電力はクリープを検討して、結果を示すべきである。
- ・東電が 5 月 20 日に発表した「福島原子力事故発生後の詳細な進展メカニズムに関する未確認・未解明事項の調査・検討結果のご報告」について議題にとりあげ東電に報告を求めてください。
- ・1 号基での事故当日夜のタービン建屋での線量上昇について、液相=原子炉からの 1 次水がタービン建屋で漏れるということは 配管の破損しか考えられません。是非とも解明をお願い致します。

<課題 2：海水注入等の重大事項の意思決定>

- ・ベントの手順書策定にあたって、米国 BWR - OG が策定した過酷事故戦略を参考にしたのか
- ・1 号機のモデルとなった米国オイスタークリーク発電所で IC の定例実作動試験が行なわれていることを東電と規制側が十分把握していながら、何故実施しなかったのか

(2) 技術委員会の運営等に関するもの

ご質問・ご意見等の概要

- ・技術委員会の資料に記載された略語のオリジナル名、和訳名を明記して頂きたい。
- ・HP は県民が手軽に読める情報量を考慮して、掲載内容等の修正を検討してください。
- ・ベント実施時に PAZ 圏内住民の多数が避難のため屋外にいた場合の県当局の対応はどのようになるか。

(3) フィルタベント設備の検証に関するもの

ご質問・ご意見等の概要
<ul style="list-style-type: none">・ 新潟県は、東京電力に TIP (炉内計装系) 案内管の損傷と TIP 室 (中性子モニター室) での漏洩を想定した事故シナリオ作成を求め、技術委員会検証の俎上に上げるべきである。・ 「格納容器破損に関する申請書の強度計算」について議論を求める。・ 地下式フィルタベントの協議はどのようになっているのか。・ 「整合性の確認」の趣旨のイメージ図がわかりにくい。・ フィルタベントについて技術委員会でさらに徹底した検証が必要。・ フィルタベント設備では、どこの、どんな訓練が不可能なのか。・ フィルタベント設備損傷時の代替として耐圧強化ベント設備は使用できないのではないかと。・ 新潟県の東電の放射性物質の拡散影響評価へのコメントや協議内容を、県のHP等への公表を望む。・ フィルタベントの性能についての議論は技術委員会で終了していないのではないかと？

(4) 東京電力への質問

ご質問・ご意見等の概要
<ul style="list-style-type: none">・ 東電は、外部水源温度の有効性評価条件をなぜ 32℃という条件を設定したのか。・ 東電担当者は、委員の質問に十分な回答をせずに、検証の議論を収束させる内容の発言をしたことは、撤回したほうがいいと思うがその点についても東電の見解をお願いしたい。

(5) その他

ご質問・ご意見等の概要
<ul style="list-style-type: none">・ 米国NRCが指摘するベントの遅延が招く水素漏えい量増加に対する東電の対策「原子炉建屋水素処理装置・原子炉建屋トップベント設備・ブローアウトパネル開放手段」の使用条件は。・ 原子炉建屋トップベント設備・ブローアウトパネルを機能させれば、わずかでも高濃度放射性物質が直接大気に流れ出る。そのことについてどのように評価しているのか。・ 米国NRCが指摘するベントの遅延が招く低圧注水阻害の可能性についての検討と対策は。・ 原発の耐震基準はデータ処理に回帰式を使うという致命的な地震学の間違いで危険。「何の根拠もない偶然出た数字に過ぎない」と科学的に証明できる。資料を技術者に見せてほしい (入倉の式のこと)。